



生まれてきてくれてありがとう



STORY BOOK

特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク

しゅろハウス STORY BOOK

～生まれてきてくれてありがとう～

2024年度 WAM助成 社会福祉振興助成事業 報告書
石巻地域の若者応援！体験と繋がりをつくる「あっとホーム」事業

2025年3月 発行

発行

特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク

984-0015 仙台市若林区卸町2丁目9-1 INTILAQ 東北イノベーションセンター内

TEL 090-7079-8673

E-MAIL info@manabinotane.net / m.tane279@gmail.com

しゅろハウス（石巻市内中心部）

OPEN 毎週 月 / 水 / 金 16:00～（不定期イベントあり）

取材・編集

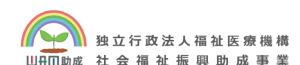
株式会社マナライブ

挿絵・漫画

hiiko

デザイン

tips



代表あいさつ

しゅろハウスに集う子たちの言葉

もはや実家
家より落ち着く
とにかく安心感
ご飯を食いたいと思う所
笑顔が溢れる
やりたいが叶う
目的なくても居られる
悩みを分かち合える
年齢に関係なく話せる
いろいろな人に出会える
愛があふれている

2022年5月13日に高校生・若者が主役となるみんなのお家「しゅろハウス」をオープンし、3年が経とうとしています。オープン前から「手伝いたい!」という大学生や若者が名乗り出てくれ、初日から高校生が来てくれました。2年8ヶ月で478回、子ども・若者は延べ 1,558人が訪れる場となり、多くの方々に支えられてまいりました。

誰もが温かい雰囲気でごしやすい居場所となっているのは、共に時間を過ごすことで創り上げてきた空気感と関係性の結果です。特に大切にしているのは、みんなでご飯を作って食べ、食卓を囲んだ団欒をすること。そして、一人ひとりの声を聴きながら、困り事を少しでも軽く、やりたいことや必要なことは可能な限り実現してまいりました。東日本大震災から10年以上過ぎてもその影響が残る中、様々な事情や思いを抱えた若者たち。話を聴くと「生きていてくれてありがとう」という気持ちになります。

私が彼・彼女たちに伝えていることは3つ。『自分を大切にすること、自分で決めること、協力する・助け合うこと』です。どんな状況であっても、自分の人生を幸せに生きてほしい、しゅろハウスでの多様な出会いと体験が、自分の歩む道を見つけ、一步を踏み出すきっかけや後押しになったらと、心から願ってやみません。

このような居場所を継続できるのは、ご理解くださる多くの皆さまのご支援やご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。今後とも、一緒に彼・彼女たちの成長を見守り、応援し続けていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

2025年3月

特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク
代表理事 伊勢 みゆき



- 01 代表あいさつ
- 02 しゅろハウスオープン
- 04 ケの日～日常のひとコマ～
- 08 ハレの日～特別な体験～
- 12 漫画「笑顔の裏にある、あの子の本当の物語」ができるまで
- 13 漫画「笑顔の裏にある、あの子の本当の物語」
- 22 伝えたい思い
- 23 保護者の声
- 24 みんなのしゅろハウス～仲間たちのスケッチ集～
- 26 活動報告（しゅろハウスの記録）
- 28 連絡先・SNS（気軽につながる）
- 29 寄付窓口（気持ちをカタチに）



「高校生や若者がホッとできる居場所」

ほっとできる

心を落ち着け
自分らしくいられる
安心の空間

挑戦できる

新しいことにトライし
自分の可能性を
広げられる場

学びと出会い

人とのつながりから
新しい発見や
学びが生まれる場所

涙も笑顔も受け止める

どんな気持ちも
大切にされる
心を開ける空間

支え合える

誰かに寄り添い
また自分も支えられる
あたたかな関係

安心して過ごせる

誰もが受け入れられ
無理をせず
過ごせる居場所

愛と感謝が循環する

ひとりひとりの想いが
広がり、優しさが
めぐる空間

みんなでつくる

共に考え
共に成長しながら
築いていく場

居心地のいい食卓

みんなで食事を囲み
温もりを感じられる時間

未来につながる

ここでの経験や出会いが
次の一步につながる場所



しゅろハウスオープン

2022年5月13日

地域の方、地元の高校生などたくさんのボランティアの皆さんのおかげで
落ち着く素敵な空間に仕上がりました！

地域の方々や経験者の
アドバイスを受けながら、
ペンキ塗りが初めての子も
みんな夢中になって
作業しました。



「ここにはこんなスペースがあったらいいよね」と
話しながら、ラーニングルームの椅子や机を組み立てました。

OPEN!



ラーニングルーム



コミュニティールーム



パズルボード



倉庫の扉

ケの日 ～日常のひとコマ～

日本の文化では、普段の何気ない日々を「ケ(褻)」と呼び、お祭りや儀式、特別なできごとを「ハレ(晴れ)」として区別する考え方があります。

しゅろハウスでは、食卓を囲むひとときや、何気ない会話など、そんな「ケ」の日々の積み重ねを大切にしています。

読書や勉強をする人・おしゃべりを楽しむ人
スタッフに相談する人も！



どんなメニューになるかも
楽しみの一つです！



16:00～

学校帰り・仕事帰りのひととき

読書や勉強、趣味など思い思いに過ごせる時間。リラックスしながら仲間と話したり、一人で集中したりと、その日の気分に合わせて自由に過ごせます。

18:00～

みんなで夕食作り

「野菜を切る係」「炒める係」「食器を並べる係」など、それぞれが役割を持ち、協力しながら夕食を準備。料理のコツを教え合ったり、新しいレシピに挑戦し、食事作りが楽しい学びの時間にもなっています。



19:00～

「いただきます」

みんなで作った食事を囲み、談笑しながら楽しく食べる時間。料理の出来栄をみんなで評価し合ったり、「次はこれが食べたい！」と話が弾むことも。笑い声が飛び交い、仲間との距離が自然と縮まる大切なひとときです。

20:00～

片付け & 自由時間

「ごちそうさま」をした後は、みんなで協力して後片付け。食器を洗ったり、テーブルを拭いたりしながらの作業は、不思議と会話が弾む時間でもあります。その後は自由時間となり、帰る時間までお迎えを待ったり、のんびり過ごします。

活動日 平日 月・水・金 / 16:00～
週末 隔週でイベントを開催

学校や仕事帰りに自由に集まり、個々のペースで過ごします。日によって顔ぶれも変わる、いつも温かく心地よい憩いの場です。時間はあくまで目安。集まったメンバーや状況で決めています。



毎月の食事表
夕食後記入します！

10月MENU

1	火	水	木	金	土	日
2	水	木	金	土	日	月
3	木	金	土	日	月	火
4	金	土	日	月	火	水
5	土	日	月	火	水	木
6	日	月	火	水	木	金
7	月	火	水	木	金	土
8	火	水	木	金	土	日
9	水	木	金	土	日	月
10	木	金	土	日	月	火
11	金	土	日	月	火	水
12	土	日	月	火	水	木
13	日	月	火	水	木	金
14	月	火	水	木	金	土
15	火	水	木	金	土	日
16	水	木	金	土	日	月

memo
11月10日(金) 11月11日(土) 11月12日(日)
11月13日(月) 11月14日(火) 11月15日(水)



ケの日 ～日常のひとコマ～

食は命 ～食卓から幸せを～

メニューはその日、あるもので作ります。費用は無料。
食材は、たくさんの方々からのご寄付や『ふうどばんく東北AGAIN様』よりご提供のもの、助成金・寄付金で購入しています。非常に助かっており、感謝の気持ちでいっぱいです。
食卓には、ランチョンマットの上に副菜が多く並びます。
旬を味わうこと、栄養バランスはもちろん、準備・片付けで役割があるので、「ありがとう」が増え、笑顔につながっています。



ハレの日 ～特別な体験～

「ハレの日」とは、日常（＝「ケの日」）の中で生まれた、若者たちの「やってみたい」「経験してみたい」という想いを形にし、いつもとは少し違う特別な体験ができる日です。新しいことへの挑戦や、伝統・文化に触れる機会を通じて、学びや気づきを得ながら、自信を育んでいきます。さらに、仲間との絆を深めたり、地域の方々と交流を重ねることで、人とのつながりが広がり、安心して過ごせる環境が生まれていきます。

※その他、たくさんのイベントを実施いたしました。p26-27「活動報告」参照



みんなを喜ばせたい！スイーツ作り

刃物が苦手な高校生がチャレンジしたスイーツ作り。それはいつも一緒に過ごすお姉さん、お兄さんのような若者たちを喜ばせたいと思ったことから。想いがあると苦手なことを乗り越えられることを教わりました。



高校生企画！ 探究学習の発表会&特別講座

受験に向け自ら探究学習への再挑戦を決めた高校生。辿り着いたテーマが「韓国人の美意識」について。自ら調べて、日本と韓国を美容でつなぐ Gaja-go 遠藤綾さんから沢山学び、もっと多くの人に知って欲しいと、学習の発表と講座を企画。みんなもビックリ！が連発する内容でした。



初めての浴衣&ヘアアレンジで夏祭り

浴衣を着る機会がなかった若者たちが、着付け体験を通して伝統文化に触れる機会に。仙台の美容師 Mikuさんがヘアアレンジを担当しました。初めて袖を通した浴衣とアップヘアにドキドキ。石巻の「川開き」祭りを楽しみ、夏の思い出が増えました！



ウクライナ TABLE&TALK ナイト

ウクライナを応援している若者企画で、石巻在住のヴィタリーさんご夫妻を招いたイベントを開催。食事に肉を、デザート用にヨーグルトをクレープで包み焼いて味わいました！食後にはたくさん質問をしてウクライナのことを知ることができました。



誰もが特別！誕生日のお祝い

お誕生日をお祝いしてもらおうのが初めてという若者がいます。そんな時は、ホットケーキを焼き、チョコプレートをつけて、みんながHAPPY BIRTHDAY♪を歌っています。その時はどんな人でも笑顔になれるスペシャルな時間です。



若者企画【金華さんぽ】寄付で実現！

「やってみたい！」の声から生まれた特別企画。皆さんの寄付で、Kさんを応援する1泊2日のツアーが実現。ガイドはもちろん、金華山と神社に詳しいKさん！自然と歴史を感じる貴重な体験となりました。



バウムクーヘン作りに挑戦！

松島自然の家の出前講座で、しゅろハウスのお庭で本格的なバウムクーヘン作りに挑戦。少しずつ重ねてじっくり焼き上げた3種類の味は格別でした。BBQと一緒に楽しい食体験を満喫しました。

高校生 就活&進学応援企画

就職や入試の面接対策として、プロのアナウンサー及川徳子さんから、面接での相手に届く声の出し方や話し方などを学びました！将来「声を仕事にしたい」高校生のために、たくさんアドバイスいただきました。



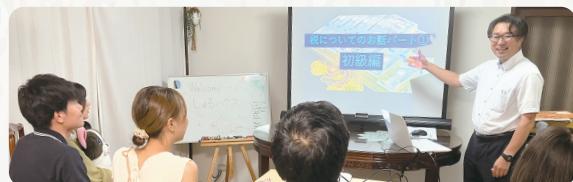
正しく学ぼう！性教育講座

NPO法人キミノナリさんを講師に、若者向け、高校生向けにそれぞれ内容を変えて講座を開催。女性の身体のことや同意の大切さ、自分を守るために必要なことなどを教わりました。



ウッドデッキ作りワークショップ！

コミュニティルームとお庭をつなぐ軒下に、みんなでウッドデッキを作りました。講師は地域の困った時に助けてくれる大林政夫さん。ちょっとした凸凹やペンキ塗りのムラも愛着が湧いてきます。



石巻市議による税金講座

社会に出る前に知っておきたい、社会に出たからこそ知りたくなった「税金」の仕組み。元教員で石巻市議会議員の宇都宮さんを講師に、特別講座を2回開催。自分たちの実生活と照らしながら学び、理解を深めました。

Beauty イベント DAY

カラー診断やファッションコンサルのひろみん、占いの母 Tamacoさん、ウクレレ漫談みさきー、美容師さちこさんのヘアカットなど、身も心もキレイになるスペシャルな一日。みんなHappyで笑顔になりました^^



地元町内会の夏祭りに出店！

浴衣を着て高校生・若者たちが地元の夏祭りに参加。「季節のおいしい食卓SONO」のMimiさんに教わって作った冷たいスイーツや駄菓子のつかみどり、親子3代で作った無農薬野菜の販売体験を行いました。



五感で楽しむ味噌作り体験

(有)菅原商店の女将さんが材料を提供してくださり、味噌作りを体験。茹でた大豆を足で踏むと豆の温かさと柔らかさを感じ、麴と混ぜ合わせるとふわっと豆の香りが広がり五感が刺激されました。色が熟成していただく手作り味噌は絶品♪



体をほぐしてハロウィンパーティ！！

オランダ在住のウェルネスボディワーカー、交流と感性のトレーナー Yako Kimuraさんを講師に迎え、ちょっと違う自分と出会うハロウィンイベントを開催。体をほぐしてから気になる衣装やウィッグをして子供も大人も仮装を楽しみました^^



野外炊飯&デイキャンプ

外で活動したい！体を動かしたい！を叶えた企画。いつも応援くださるピンポン先生にお世話になり、松島自然の家で米粉ピザ作り&MAP（みやぎアドベンチャープログラム）を体験しました！協力し合っの活動はお互いを知る機会になりました。

自然を瓶の中に！テラリウム作り

クリスマス会に合わせて、毎年ものづくりワークショップを開催。美味しいお米を寄付くださる米農家・一迫林業研究会の高橋勇記さんを講師に「テラリウム」作りを行いました。自分だけのミニチュアガーデンが出来上がりました。

漫画「笑顔の裏にある、あの子の本当の物語」ができるまで

この物語は、しゅろハウスで出会った何人もの高校生や若者たちのエピソードを組み合わせ、個人が特定されないよう配慮して形にしました。

しゅろハウスでは、誰も震災や家庭の事情で苦しんでいる姿は見せません。明るく元気で、普段身近な周りにいる子たちとなんら変わらないのです。

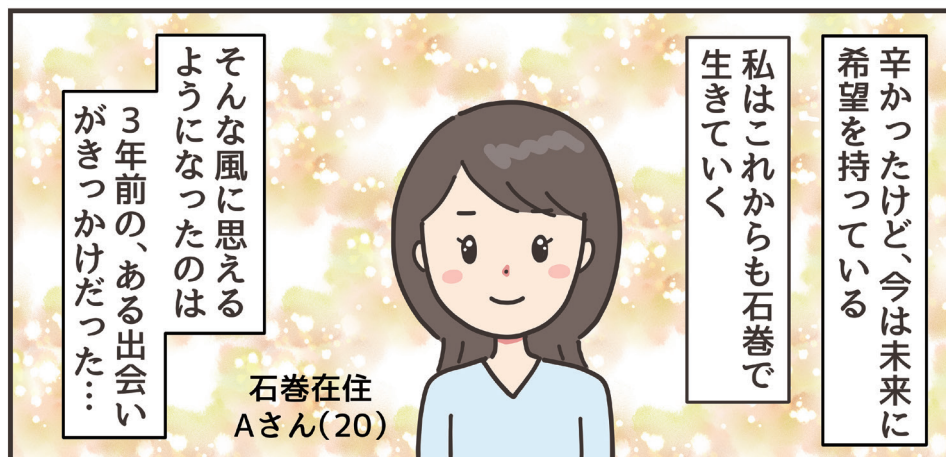
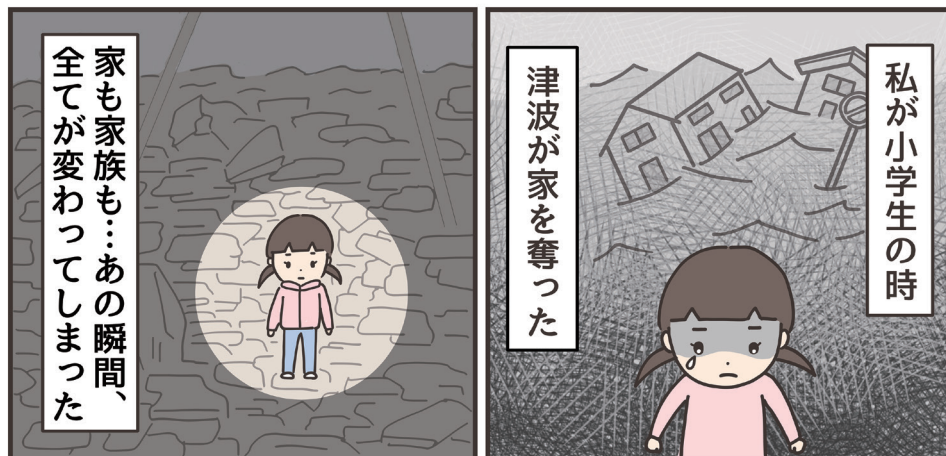
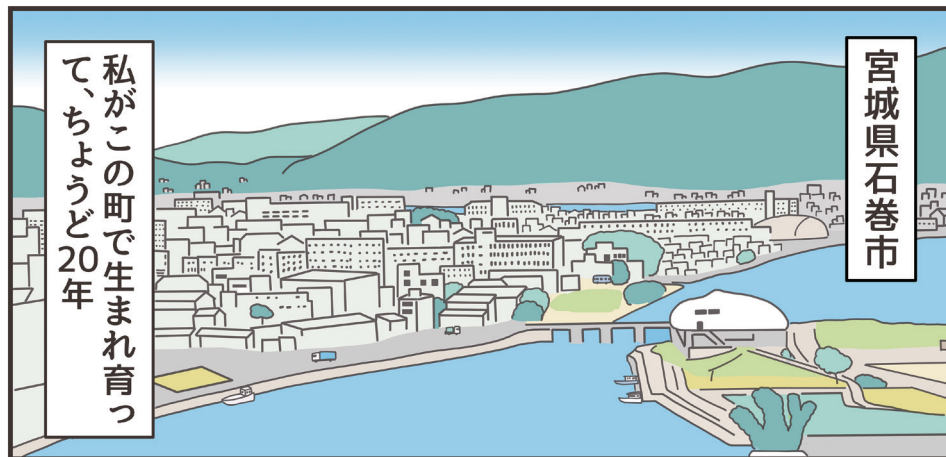
しゅろハウスで共に時間を過ごすなか、見守られ、支え合う「居場所」の尊さを実感しました。食卓を囲み、何気ない言葉を交わすだけで、まるで家族のような安心感が生まれる。

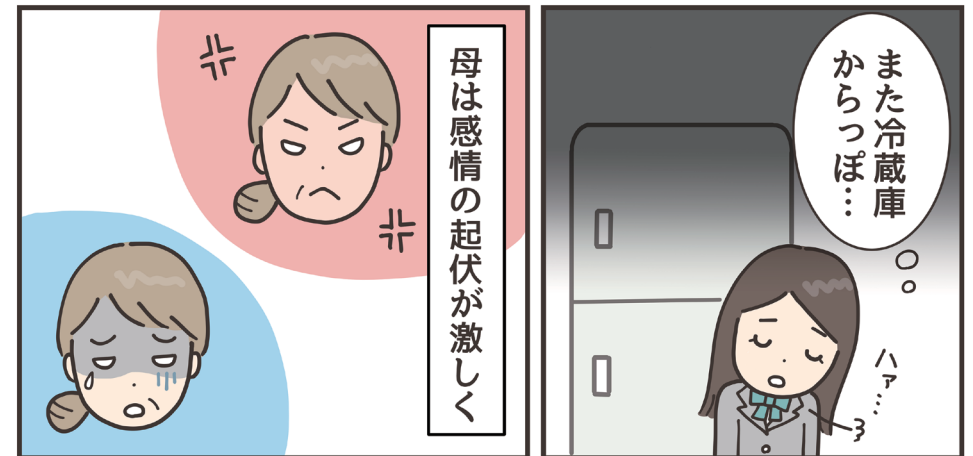
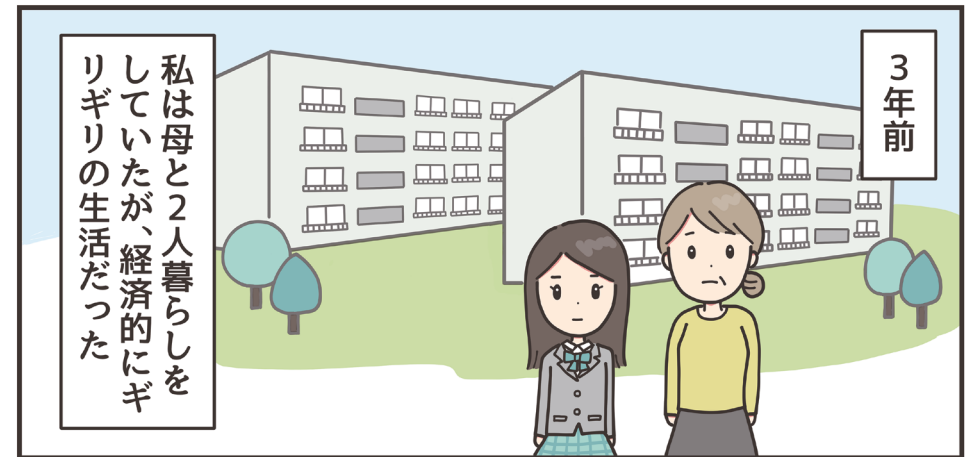
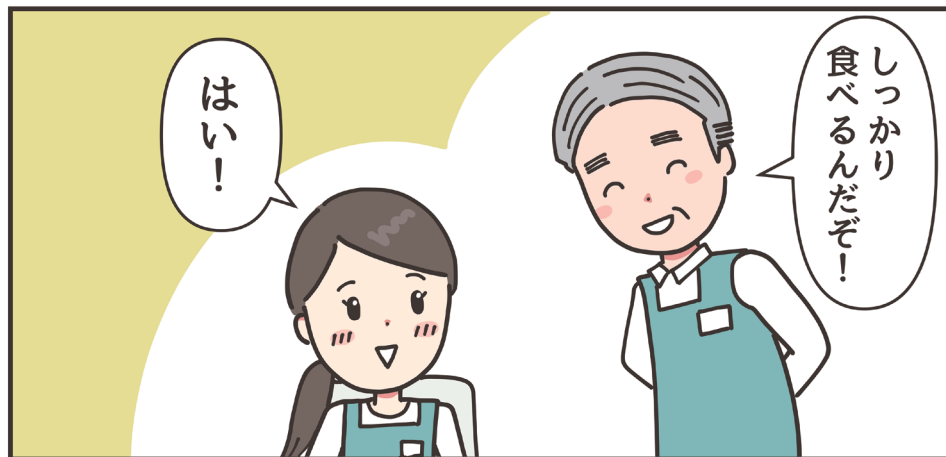
その瞬間の尊さに気づいたとき、自分も誰かを支えられる人になりたいと強く願いました。

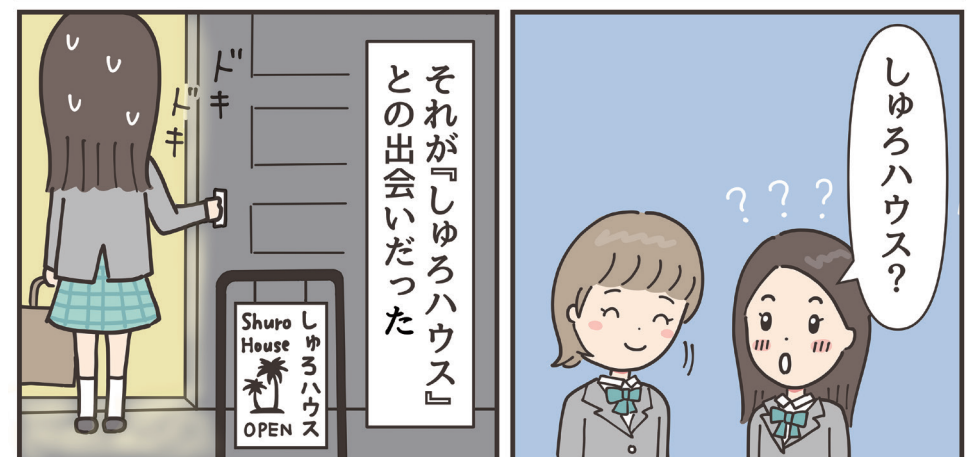
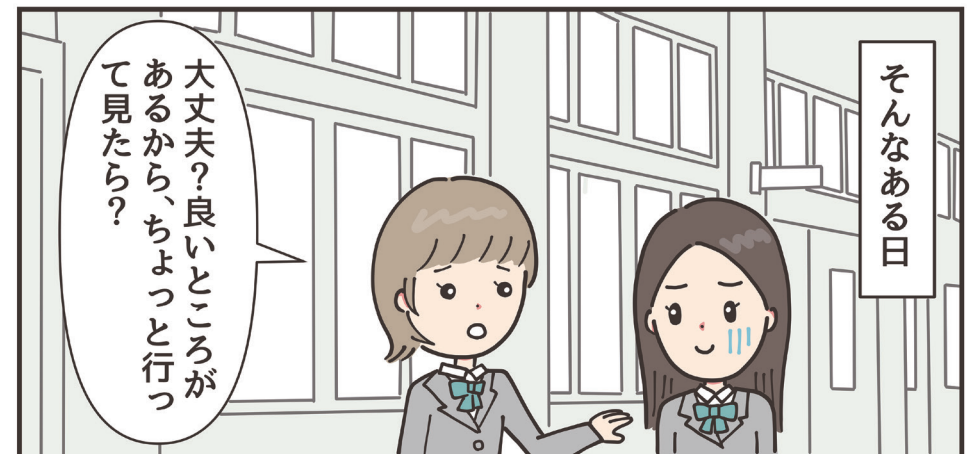
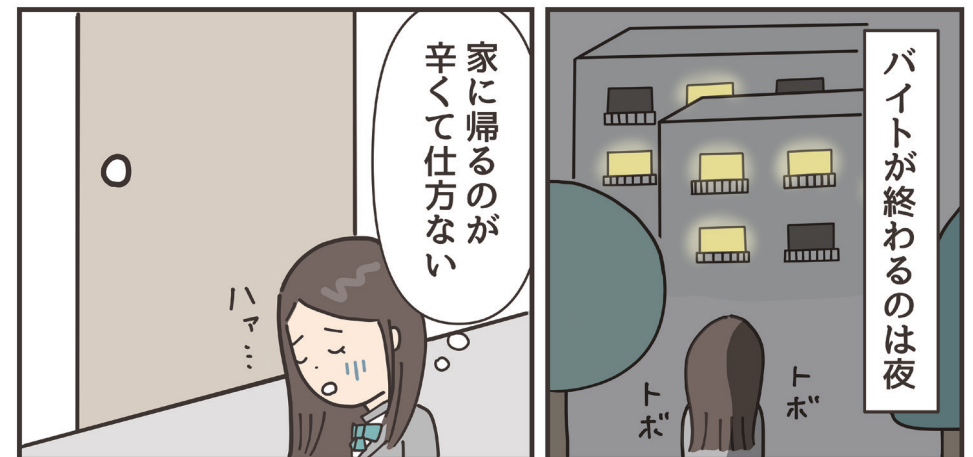
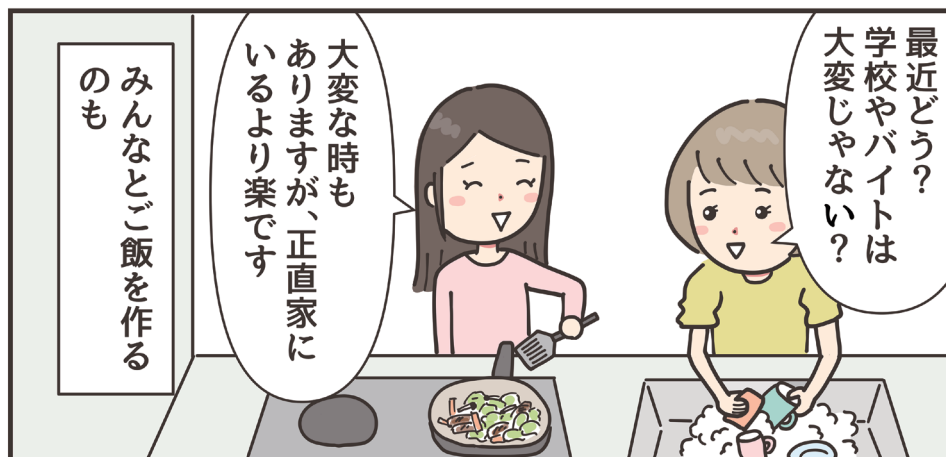
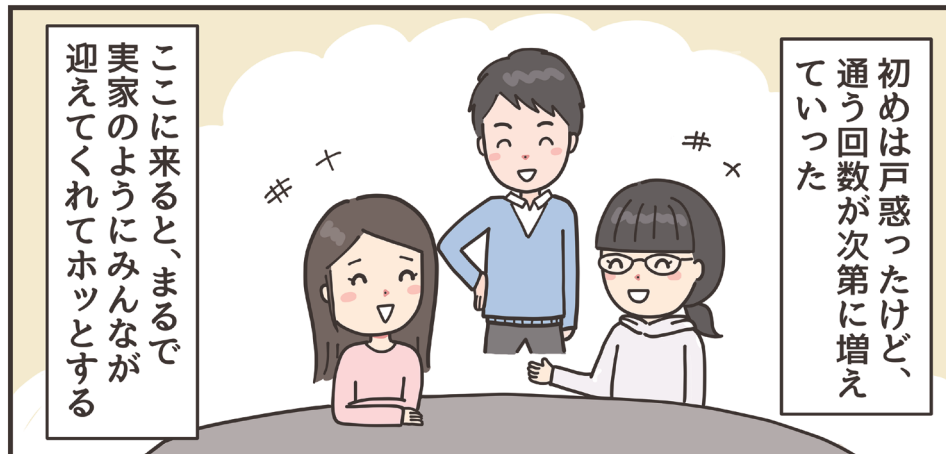
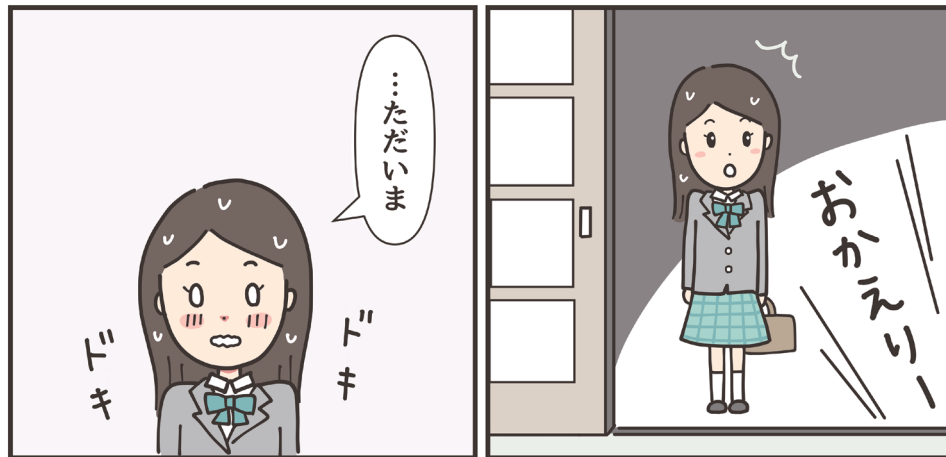
ほんの少しの「居場所」が人の未来を変える――

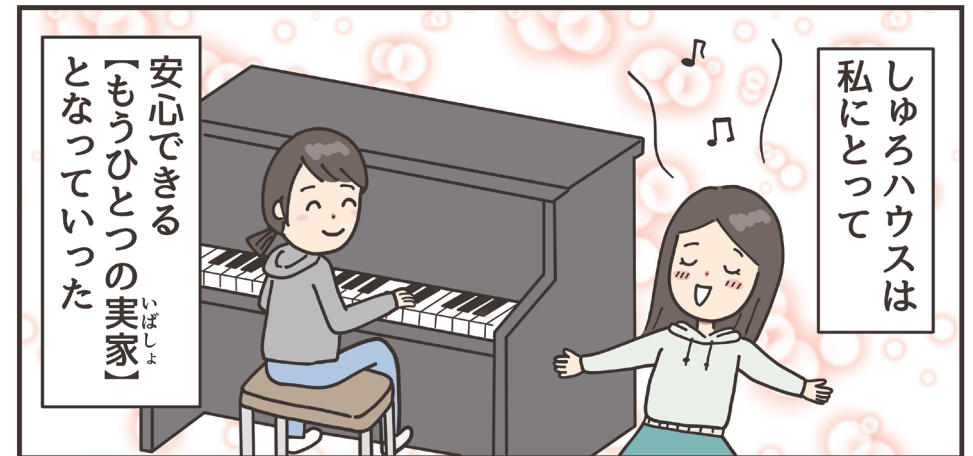
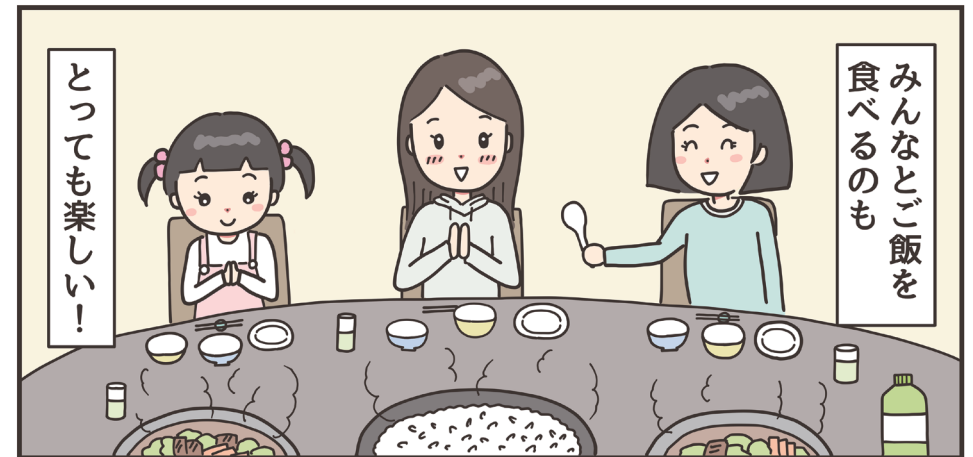
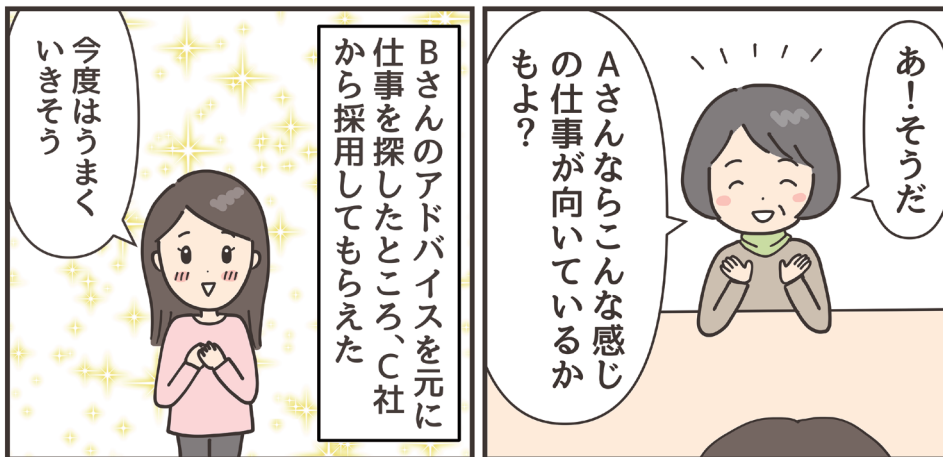
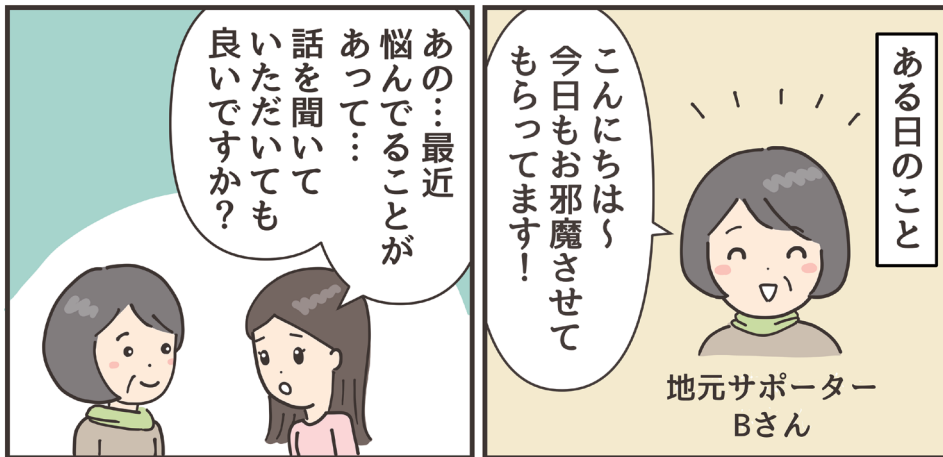
この物語が、しゅろハウスを訪れるきっかけや、手を差し伸べたいと思うきっかけになればと願っています。

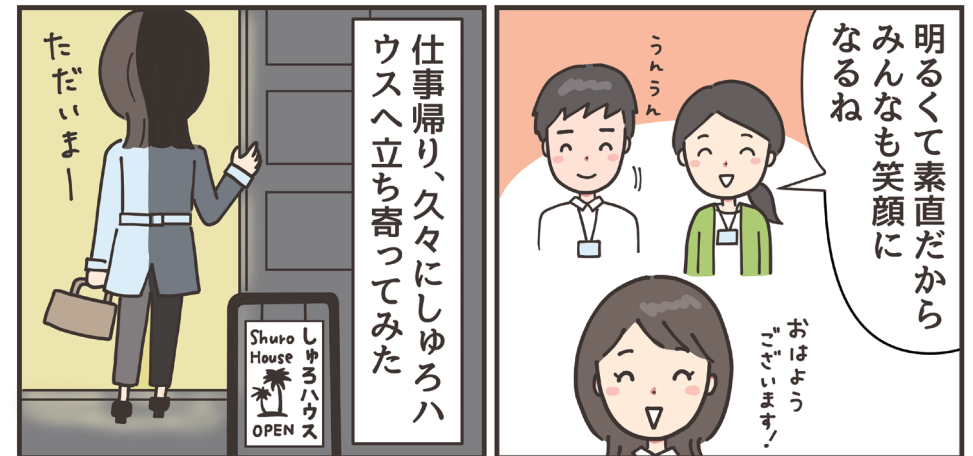
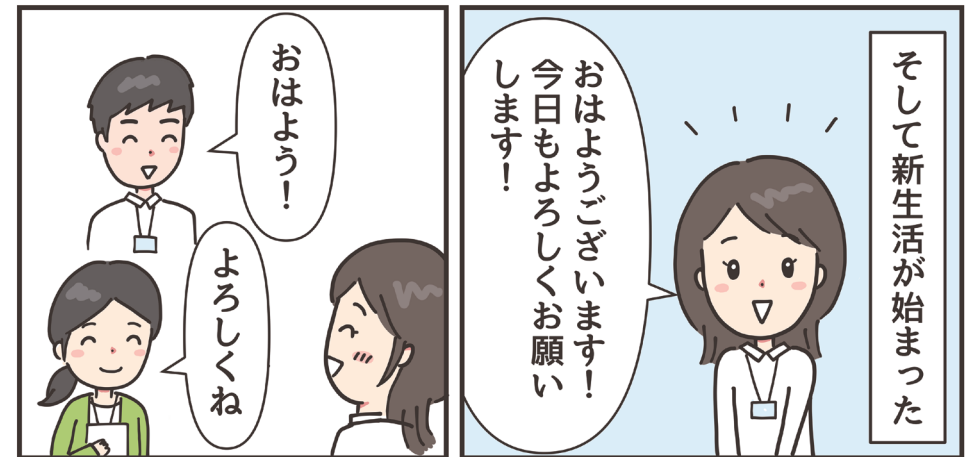
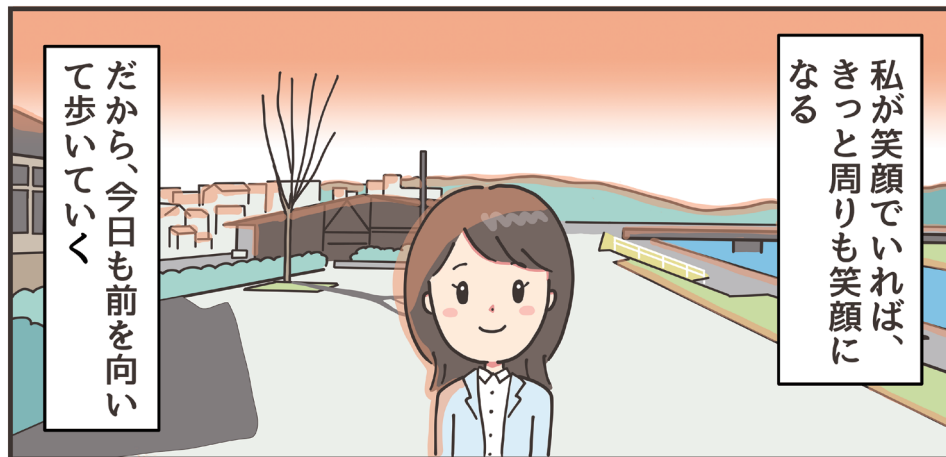
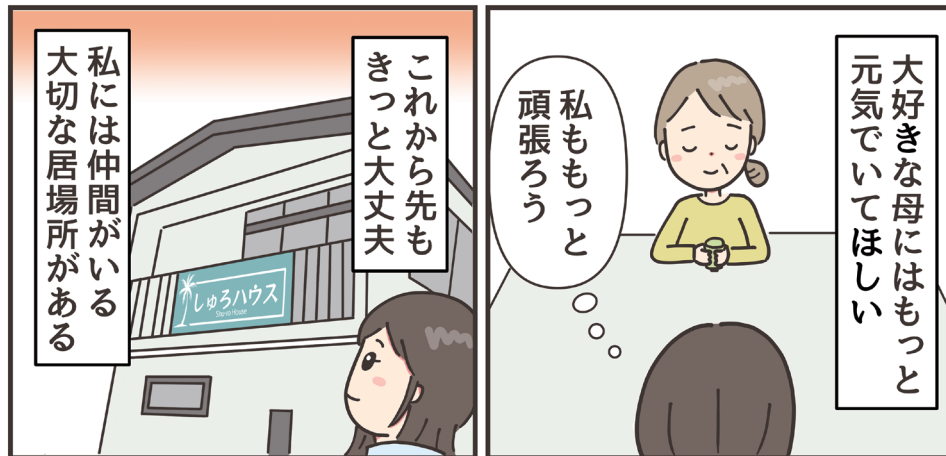
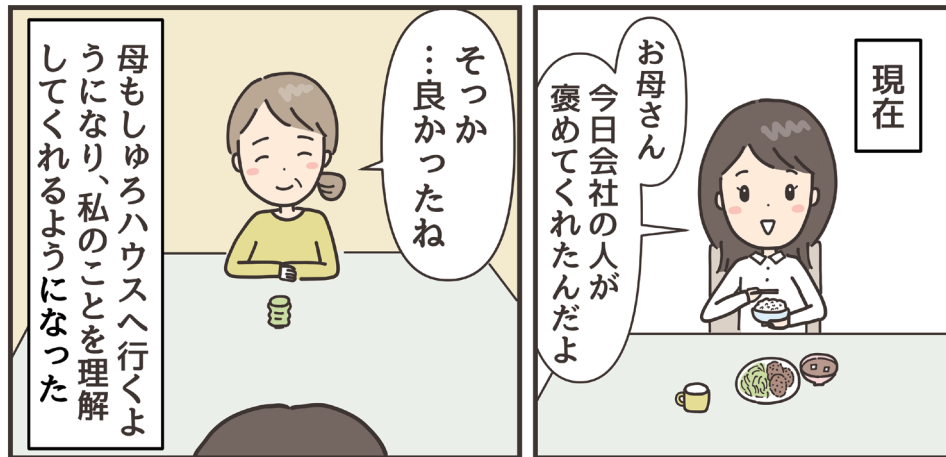
取材 渡辺 彩香











伝えたい思い

「ただいま」「おかえり」
—まるで、実家のような場所
しゅろハウスに集う高校生や若者
に、「しゅろハウスってどんなところ？」と訊ねると、多くの人が「実家」と表現します。その背景には、誰もが安心して過ごせる温かさがあります。

「ここには、「家に居場所がない」「相談できる大人がいない」「経済的な困難を抱えている」など、さまざまな事情を持つ若者たちが集まります。

ただ悩みを聞くだけでなく、一人ひとりを尊重し、自分を理解してくれる仲間や大人と関わることで「自分は一人じゃない」と感じられる居場所になっています。

温かい
ご支援に
心から感謝を

当初、高校生の放課後の居場所、いわゆる「サードプレイス」としてスタートしました。しかし、実際に運営を続ける中で、日常的な相談だけでなく、緊急の支援や継続的なサポートが必要なケースがあることが分かりました。

震災遺児
震災による親の精神疾患

経済的困窮状態
多重債務

家庭内DV・未婚の母
若年妊娠・性被害

発達障害・引きこもり
不登校・進路相談・親子関係
複数の疾患や障害

その他、多様な事由による現実。

支援を受けたくても「通いづらい」「地元では受け皿がない」などの課題があり、専門支援機関では対応しきれない現実もあります。

しゅろハウスでは、「支援者と利用者」という枠を超えて、本音が言える関係性や、信頼関係を築くことを大切にしています。単なる支援ではなく、若者とともに考え、寄り添いながら歩む関係を育んでいくことが、この場所の役割です。

しゅろハウスがあることで、若者たちは「頼れる場所がある」と感じ、少しずつ前に進むことができます。

この居場所を守り続けることができるのは、支援してくださる皆さまのおかげです。しゅろハウスは、地域の方々や支援者の温かい応援に支えられながら、若者たちが安心して自分の人生を歩み、未来へと踏み出せるよう伴走しています。

この冊子を通じて、石巻地域の子どもや若者たちの現状を知り、きつかけとなれば幸いです。

そして、皆さまのご支援が、こども・若者たちの未来を支える大きな力になっています。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

若者たちが 直面する厳しい現実

はじめて「しゅろハウス」を知ったのは、
公共施設のトイレに置かれていた1枚のカードでした。

娘がそれを見つけ、興味を持って連絡を試みたのがきっかけです。当時、娘は不可解な行動をとることが多く、私自身は不安でいっぱいでした。いろいろな機関や専門家に相談しましたが、どこかモヤモヤとしたまま解決に至らず、「発達障害かもしれない」という疑いを抱く一方で、娘本人は「自分は問題ない」と考えているような状況でした。



そんな中、しゅろハウスを訪ねて代表の伊勢さんに話を聞いてもらったときは、まるで心が救われる思いがしました。しゅろハウスは行政の施設とは違い、暖かく、ふんわりと受け入れてくれる雰囲気があります。ここに来ると肩の力が抜け、何も気構えずにホッとできるのです。まさに「心の拠り所」と呼ぶにふさわしく、私にとっては「神様からの贈り物」のように感じています。

また、しゅろハウスでは子どもだけでなく、大人とも関わることで、互いに学び合える場が整っています。子どもたちが主体的に動ける環境があり、他の子どもとの交流を通して、私も娘のことを改めて知る機会を得ました。私自身も関わるうちに、自分らしさや素の自分をさらけ出せるようになったと感じています。

しゅろハウスのスタイルは、他にはなかなか見当たりません。どんな子どもでも、どんな背景を持っても受け入れてくれる、間口の広さがあります。突然訪ねてもご飯と一緒に食べられるような温かい場所で、涙が出るほど心が助けられました。伊勢さんとお話するうちに「私も何か手伝いたい」と思うほど、この存在が本当にありがたいのです。

本当に「救われた」その一言に尽きます。親子ともに安心できる、この「しゅろハウス」で今後も関わっていければと思います。

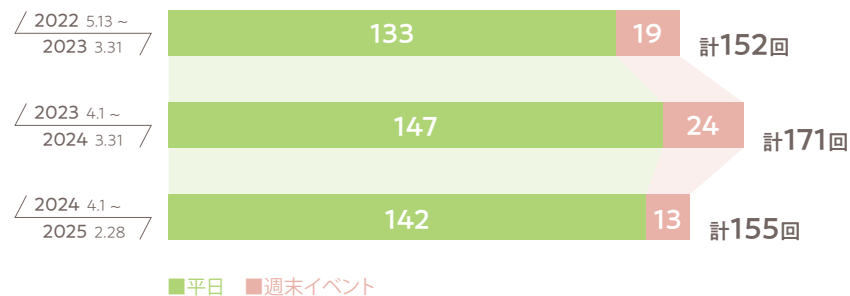
利用されている 保護者の声

20代のお子さんとともに
通われているSさん

この場所があったからこそ、親としても、
子どもと向き合う新たな視点を得ることができました。

実施回数 2022.5～

延べ回数 **478回**



・ イベント内容 ・

季節行事

BBQ、誕生会、卒業祝い、クリスマス会、ハロウィンなど

ワークショップ

バームクーヘン、スノードーム、テラリウム、デッキづくり、ヨガ など

お出かけ

高校文化祭、他団体イベント参加、スケート、釣り体験 など

コラボイベント

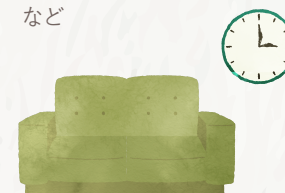
若者チャレンジ DAY、カフェ体験、夏祭り出店、スイーツ作り販売、ビューティ講座、ファッションコーディネート など

学び

税金講座、性教育講座、LGBTQ 講話、議員さんとの意見交換会、高校生企画探究学習「韓国講座」 など

居場所での過ごし方

食事づくり（メニュー決め、準備、片付け含む）
食卓の団らん | 個別相談 | 学習
アクセサリ作り | カードゲーム
カラオケ | お菓子作り | おしゃべり
読書 | 何もしない | 寝る
壁塗り（アルバイト） など



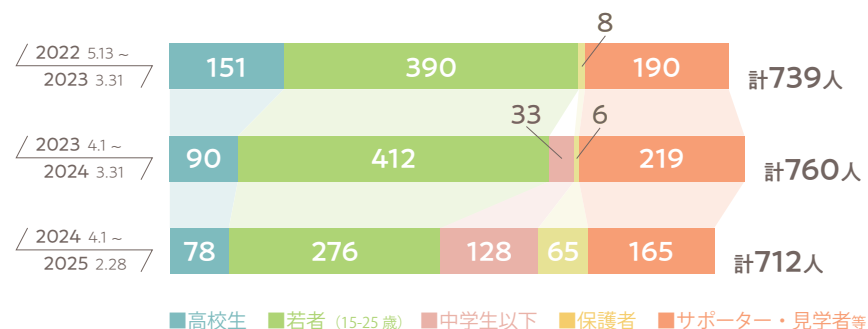
活動報告

しゅろハウスの記録

2025.2.28 現在

利用者数 2022.5～

延べ人数 **2,211人** (内、25歳以下 1,558人)



相談

家族、親子関係（各種依存、疾患、金銭搾取、DV など）
経済的困窮 | 性（妊娠、出産、性被害） | 体調
進路（進学、就職の面接練習、志望理由書、小論文指導）

就労、転職 | 離婚 | 子ども（養育費、認知、親権、保護）
住居 | 友人関係 | 孤独 | 発達 | 学習支援
不登校 | 探究学習 など

気持ちをカタチに

寄付窓口

頂いたご寄付は、今後も支援活動のために
大切に活用させていただきます。

問い合わせ・宛先 特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき

お金での応援

銀行口座へお振込でのご寄付

七十七銀行 (0125) 県庁支店 (206) 普通 5532281
トクヒ・マナビノタネネットワーク

Syncable (シンカブル) を利用したご寄付

個人と非営利団体を繋ぐ、1度につき300円からの寄付が可能な
プラットフォームサービスです。



銀行振込



クレジットカード 都度 or 毎月 か選べます



Syncable

※認定 NPO ではないため、税制控除は受けられません。

物資での応援

しゅろハウスでは、食べ物、衣類（若年層向け）を随時受け付けております。
ご協力くださる方は、メールをお送りください。折り返し送付先をお知らせいたします。
※セキュリティのため、住所非公開としております。

m.tane279@gmail.com

気軽につながる

連絡先・SNS

いずれかの方法でご連絡ください。
しゅろハウスの住所のご案内や、ご質問等にお応えいたします。

住所は石巻市中心部になります。※セキュリティのため非公開です。訪問の際はご一報ください。

MAIL

m.tane279@gmail.com

曜日、時間にかかわらずいつでもご連絡ください。数日内に返信いたします。

TEL

0225-98-8416 (しゅろハウス)

活動日 月・水・金 / 16:00~

SNS

随時活動の様子発信や、質問などのDMも受付ております。
しゅろハウスの日常の様子をご覧ください。



facebook



Instagram